

第37回テニス日本リーグ

開催要項

1. 主催 公益財団法人 日本テニス協会
 2. 主管 関東テニス協会 関西テニス協会
 3. 後援 日本経済新聞社
 4. 運営協力 一般社団法人東京都テニス協会 神奈川県テニス協会 一般社団法人兵庫県テニス協会
 5. 期日
 (1) 男子リーグ ファーストステージ 2022年12月 1日(木)～ 4日(日)
 セカンドステージ 2023年 1月18日(水)～22日(日)
 決勝トーナメント 2023年 2月17日(金)～19日(日)
 (2) 女子リーグ ファーストステージ 2022年12月 2日(金)～ 4日(日)
 セカンドステージ 2023年 1月21日(土)～22日(日)
 決勝トーナメント 2023年 2月17日(金)～19日(日)
6. 会場
 ◆第1会場:東京体育館(マット/室内4面) 決勝トーナメント
 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 TEL:03-5474-2111(管理事務所)
 臨電:
 ■第2会場:横浜国際プールテニスコート(マット/室内5面) ファーストステージ・セカンドステージ
 神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1 TEL:045-592-0453(管理事務所)
 臨電:
 ■第3会場:兵庫県立三木総合防災公園屋内テニス場
 (ブルボンビーンズドーム:ハードコート/室内5-7面) ファーストステージ・セカンドステージ
 兵庫県三木市志染町三津田1708 TEL:0794-85-8413(事務所)
 臨電:

| 区分 | | 1stステージ[12月] | | 2ndステージ[1月] | | 決勝トーナメント[2月] | |
|------|-------------|--------------|------|-------------|------|--------------|------|
| 会場 | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 第1会場 | 東京体育館 | | | | | 8チーム | 6チーム |
| 第2会場 | 横浜国際プール | 9チーム | 6チーム | 9チーム | 6チーム | | |
| 第3会場 | ブルボンビーンズドーム | 9チーム | 6チーム | 9チーム | 6チーム | | |

※会場の都合により、試合会場を変更することがある。

7. 種目
 男子:18チーム以内による実業団対抗リーグ戦及びリーグ戦各ブロック
 上位4チーム計8チームによる決勝トーナメント。
 女子:12チーム以内による実業団対抗リーグ戦及びリーグ戦各ブロック
 上位3チーム計6チームによる決勝トーナメント。
8. チーム編成及び参加資格
 男女:部長、監督、マネージャー各1名、トレーナーは複数可他合計8名以内、選手4名以上9名以内とする。(各チームの連絡担当者は、メンバー登録者に限る。)
 * 男女共選手が、部長、監督、トレーナー、マネージャーを兼任できる。
 * 選手は、2022年10月1日現在およびそれ以降大会期間中を通じて以下①②③④のいずれかに限る。
 ① 当該実業団またはその連結決算対象の子会社と直接雇用契約のある従業員。
 ② 当該実業団が連結決算対象とされている親会社と直接雇用契約のある従業員。
 ③ JTA登録のプロフェッショナル選手およびJTA登録のない外国籍選手で、当該実業団およびその連結決算対象の子会社と所属契約を締結している選手。なお、JTA登録のない外国籍選手の出場は1対抗につき1ポイント以内とする。
 ④ 学生については、①②同様当該実業団と直接雇用契約のある従業員であれば参加できる。但し10月1日現在JTAプロフェッショナル登録(もしくは申請)をしていることが必要。
 * 女子チームについては、次の特例を認める。その際、所定の申請書を提出するものとする。
 チームの拠点を都道府県単位で定め、その拠点における社会人の選手を1ポイントに限り補強することができる。補強選手の条件は①②③のいずれかを満たすこととする。
 ① チーム拠点(都道府県)の在住または在勤の社会人であること。
 ② チーム拠点(都道府県)の中学・高校・大学のいずれかを卒業している社会人であること。
 ③ 当該実業団の元社員・元職員であること。
 * チームは同一実業団であれば、所属地域に関係なくベストメンバーを組むことができる。

- * 申込後のメンバー変更又は追加は、男子が2022年12月1日、女子が12月2日の監督会議で1名に限り許可する。
- * 第36回テニス日本リーグに登録した選手で第61回全国実業団対抗テニス大会(ビジネスパル・テニス)に出場した選手は第37回テニス日本リーグの選手として登録することはできない。
- * 大会本部は参加資格確認の為、雇用契約または所属契約が分かる契約書等の開示を求めることがある。

9. 試合方法

男子：2シングルス、1ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント

女子：2シングルス、1ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント

- * ただし、同一選手はシングルス、ダブルスに重複して出場できない。
- * シングルのオーダー順位は、登録順とする。
- * シングルス・ダブルスとも、ベストオブ3セット ファーストセットはタイブレークセット(2タイブレークセット)、ファイナルセットは10ポイントマッチタイブレークとする。
- * 止むを得ない理由により、選手数が不足した場合でも、出来る試合は成立させる。

(1) 男子 [1st・2ndステージ] 18チームをレッド・ブルーの2ブロックに分け、各ブロック(9チーム)でラウンドロビンを行う。

[決勝トーナメント] 1st・2ndステージの各ブロック上位4チーム計8チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5位決定戦及び7位決定戦を土曜日に行う。

[降格(次年度の出場資格)] 1st・2ndステージの各ブロック下位2チーム計4チームはリーグから降格する。各ブロックの上位7チーム計14チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位2チーム計4チームがそのストレート・インの資格を喪失する。ただし、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。

(2) 女子 [1st・2ndステージ] 12チームをレッド・ブルーの2ブロックに分け、各ブロック(6チーム)でラウンドロビンを行う。

[決勝トーナメント] 1st・2ndステージの各ブロック上位3チーム計6チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5・6位決定戦を土曜日に行う。

[降格(次年度の出場資格)] 1st・2ndステージの各ブロック下位1チーム計2チームはリーグから降格する。各ブロックの上位5チーム計10チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位1チーム計2チームがそのストレート・インの資格を喪失する。ただし、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。

※男女とも不測の事態により大会の延期・中止などが発生した場合、その対応に関してはJTAの判断とする。

(3) 試合順序 試合順序は原則として、シングルス2・1、ダブルスの順とする。男子・女子とも原則として2面1対抗、3面2対抗とするが、会場の条件により1面1対抗とすることがある。

(4) 勝敗決定後のポイント打ち切り

決勝トーナメントは、勝敗決定次第ポイント打ち切りとする場合がある。

10. 審判

ソロチェア・アンパイアシステムで行う。(早朝及び夜間の場合はセルフジャッジもある。)

決勝トーナメントは、別に決定する。

11. 使用球

ヨネックス TOUR PLATINUM

12. 表彰

- (1) 団体 男子：優勝・準優勝・3位・4位・5位・7位・ベスト7表彰・特別賞
女子：優勝・準優勝・3位・4位・5位・6位・ベスト7表彰・特別賞
- (2) 個人 最高殊勲選手・男女各1名(組)
最優秀選手・男女各1名(組)
優秀選手・男子4名(組)以内、女子3名(組)以内
敢闘選手・男子4名(組)以内、女子3名(組)以内
最優秀新人選手男女各1名(組)
ベスト7表彰・特別賞

13. 申込締切

2022年9月28日(水)までに必着のこと。

14. 参加料

男子：1,479,500円/チーム(参加料1,479,000円+ワンコイン制度500円)

女子：1,122,500円/チーム(参加料1,122,000円+ワンコイン制度500円)

※申込参加料ご入金後は、いかなる理由があっても返金致しません。

本大会は、ワンコイン制度の対象大会です。参加にあたり、参加料とは別途、各種目ワンコイン制度金500円を負担願います。ワンコイン制度は(公財)日本テニス協会により制定された制度で、日本のテニス発展のため選手およびジュニ

アの育成強化を目的とするナショナルトレーニングセンターの運営を中心に地域トレーニングセンターの整備等への資金を大会参加者に広くご負担頂く制度です。「ナショナルトレーニングセンター(NTC)」及び「ワンコイン制度」について詳しくはHPをご覧ください。

ワンコイン制度ホームページ http://www.jta-tennis.or.jp/representation_from_Japan/tabid/202/Default.aspx

15. 申込先 JTA実業団委員会事務局

(問合せ先) 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-4-5 レイアード大手町ビル407

TEL : 03-5280-3021 FAX : 03-5280-3027

16. ドロー会議 2022年10月1日(土) 13:30~14:00 会場: 千代田区内会議室予定

17. その他 ①大会期間中における負傷等については、主催者加入の傷害保険の範囲内で補償する。

②【ドーピング検査について】

1.本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。2.本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。3.本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。4.本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了できなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。5.競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。6.日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。

18. 参加者が遵守すべき事項

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事(大会当日に確認をおこないます)

●体調がよくない場合

●同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

●過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること(結果報告や着替え時等のテニスをやっていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)

③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

④ 他の参加者、大会スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m)を確保すること(障がい者誘導や介助を行う場合を除く))

⑤ 会場及びその周辺で大きな声で会話、応援等をしないこと

⑥ 感染防止のために大会主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

[特記事項]

1.本大会開催・運営に必要なため、収集した企業情報・個人情報(以下)の目的のために利用します。

●役員並びに関係者に対する大会・会議等の案内他各種情報の交換、収集、提供。

●大会ドローまたはパンフレット、ホームページ、テレビ放映等に使用。

本大会のため収集した企業情報・個人情報を上記の目的以外には使用いたしません。

2.選手登録について、各チームの部長は登録選手各人に次の事項を確認し、承諾を得てください。

●事務局資料として、選手登録の際以下の項目を記入し提出すること。

①選手名・個人写真・JTA ランキング・資格(プロフェッショナルは明記) ②生年月日・出身校

③連絡責任者の所属・住所・電話及びメールアドレス。

●これらの内、以下の項目はプログラムに掲載する事。

①選手名と個人写真 ②ランキングと資格 ③出身校

上記項目の掲載に疑義のある選手は事務局に連絡してください。

トーナメントディレクター 矢澤 猛

トーナメントレフェリー 岡川恵美子